

令和 4年度

事務事業評価表（ 令和 3年度 の実績評価）

記入年月日
令和 4 年 4 月 8 日

事務事業名		茨城県都市計画協会参画事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	050101000762	
						単独/補助	単独	所属課	060201	
政策体系	総合計画の施策名	0501 計画的な土地利用の推進								都市整備課
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり								課長名
	施策名	01 計画的な土地利用の推進						グループ		都市政策G
	手段名	01 ①計画的な土地利用方策の検討								担当者名
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	半年度繰返し（平成17年度～）		
01	08	04	01	02	00		都市計画総務事業	期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入		
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要（事務事業の全体像） 茨城県都市計画協会が実施する各種事業に参画する。 【主な事業】 総合、初任者研修、中級者研修、先進地視察研修、シンポジウム、アドバイザー派遣事業、国土交通大学等研修費補助等 【茨城県都市計画協会】 〈目的〉都市計画及び景観形成に関する施策の促進を図る。 〈会員〉県内市町村 〈事務局〉茨城県土木部都市局都市計画課 〈負担金〉県事業の実施状況等に応じて算定する。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ○総会への参画（例年5月頃） ○初任者研修、中級者研修、先進地視察研修、シンポジウム等への参加 ○アドバイザー派遣事業の活用 ○国土交通大学等研修費補助の活用 ○負担金の納入事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
○ 総会への参画（例年5月頃） ○ 初任者研修、中級者研修、先進地視察研修、シンポジウム等への参加 ○ アドバイザー派遣事業の活用 ○ 国土交通大学等研修費補助の活用 ○ 負担金の納入事務	研修会・シンポジウム等への参画回数	回	1.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	まちづくりアドバイザーの派遣	件	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
茨城県都市計画協会事業に参画する桜川市職員	茨城県都市計画協会事業に参画した市職員の数	人	1.00	1.00	3.00	3.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市職員の都市計画に関する資質向上及び他市町村との情報交換を図る。	研修等が役立たと回答した市職員の数	人	1.00	1.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移

投入量	事業費内訳	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	48	49	33			
	事業費計(A)	千円	48	49	33			
量	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			
03年度事業費実績（千円）			04年度事業費予算（千円）					
18 負担金補助及び交付金			49		18 負担金補助及び交付金	33		
事業費の内訳								
			合計	49		合計	33	

事務事業名	茨城県都市計画協会参画事業	事務事業No.	50101000762	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
合併前から旧町村単位で行ってきた事業を継続している。 近年、地域主権改革の進展等により都市計画関係事務の内容は飛躍的に高度化しており、市職員の資質向上を図ることが求められている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
アドバイザー派遣事業を活用したシンポジウムについて市民から好評を得た実績がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	市職員の資質向上を図ることは、第2次総合計画（基本計画）第1章に掲げる基本政策「快適な暮らしのまちづくり」の実現を図るうえで不可欠であり、政策体系との整合は図られている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	茨城県都市計画協会は、都市計画及び景観形成に関する施策の促進を図ることを目的として県内市町村で構成される唯一の任意団体であり、その性質上、市が関与することは妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	茨城県都市計画協会事業には既に可能な限り参画しており、向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市職員の資質向上及び他市町村との情報交換を図る機会が失われる。また、茨城県都市計画協会は、都市計画及び景観形成に関する施策の促進を図ることを目的として県内市町村で構成される唯一の任意団体であり、その性質上退会することは難しい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)	<input type="checkbox"/> 余地がない	県内市町村で構成される任意団体であり、統廃合・連携はできない。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	負担金の金額は、各市町村の区域内における県事業の実施状況等に応じて算定されるものであり、削減余地はない。また、団体の性質上、正規職員以外が参画することは難しい。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市職員の資質向上を図ることは、効率的かつ効果的に業務を遂行することを通じて市民全体の利益に繋がるため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	○総会（書面開催）への参画及び負担金の納入事務を行った。 ○令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、茨城県都市計画協会事業への参画を抑制した。 ○国土交通大学が主催する「令和3年度専門課程土地利用計画研修」に参加した。																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>